

論文内容要旨

論文題目

より高い視力予後を目指した増殖糖尿病網膜症の硝子体手術治療戦略の構築

責任講座： 眼科学 講座
氏名： 西 勝弘

【内容要旨】(1,200字以内)

増殖糖尿病網膜症の硝子体手術後の視力予後予測として、術後視力予後に関連する因子を検討し、それをもとに硝子体手術治療戦略を構築した。

山形大学医学部附属病院眼科で初回硝子体手術を施行した増殖糖尿病網膜症患者を対象とし術後視力と関連する因子を診療録ベースで後ろ向きに検討した。

増殖糖尿病網膜症は硝子体手術によって視力改善を得ることができた。視力予後には術前の病態に規定されることが明らかになった。内科—眼科間の連携を密にして眼科通院の啓蒙を行うことで眼科受診率を上げ、糖尿病網膜症の重症化を予防することが重要である。硝子体手術によって良好な視力予後を獲得するためには、増殖糖尿病網膜症が重篤化する前に時期を逸することなく行うことが必要である。

平成 27 年 1 月 19 日

山形大学大学院医学系研究科長 殿

学位論文審査結果報告書

申請者氏名： 西 勝弘

論文題目： より高い視力予後を目指した増殖糖尿病網膜症の硝子体手術治療戦略の構築

審査委員：主審査委員

木村 理



副審査委員

山下 英俊



副審査委員

浅尾 裕信



審査終了日：平成 27 年 1 月 6 日

【 論 文 審 査 結 果 要 旨 】

増殖糖尿病網膜症の硝子体手術後の視力予後予測として、術後視力予後に関連する因子を検討し、それをもとに硝子体手術治療戦略を構築した。

山形大学医学部附属病院眼科で初回硝子体手術を施行した増殖糖尿病網膜症患者を対象とし術後視力と関連する因子を診療録ベースで後ろ向きに検討した。

増殖糖尿病網膜症は硝子体手術によって視力改善を得ることができた。視力予後には術前の病態に規定されることが明らかになった。内科—眼科間の連携を密にして眼科通院の啓蒙を行うことで眼科受診率を上げ、糖尿病網膜症の重症化を予防することが重要である。硝子体手術によって良好な視力予後を獲得するためには、増殖糖尿病網膜症が重篤化する前に時期を逸することなく行うことが必要である。

本審査会での 1. 糖尿病網膜症患者は 60 歳代がピークである一方、山形大学眼科での硝子体手術対象患者の平均年齢は 55 歳と少し若いようであったが、それはなぜか。 2. 若い年代で増殖糖尿病網膜症が多くみられるのはなぜか。 3. 検討した患者の割合は 87.1% となったがなぜか。などの質問に十分答えられた。本審査会は当研究論文が学位（医学）の授与に値するものと判定する。

(1, 200 字以内)